

2025 年 12 月

一般財団法人 全日本野球協会  
アマチュア野球規則委員会

キャンプゲームマニュアル 第4版 2025年12月現改比較表

| ページ・項目               | 現（第3版）  | 改（第4版）  | 備 考                        |
|----------------------|---|---|----------------------------|
| P 2<br>2 反則投球<br>(1) | <p>②打者の虚をつくことを意図した投球（クイックリターンピッチ）</p> <p>◎ 2018年度の規則改正（定義38【注】の削除）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>2018年度の規則改正において、定義38の【注】（投手が規則5.07(a)および(b)に規定された投球に関連する動作に違反して投球した場合も、反則投球となる）が削除されました。</li><li>この改正により、投手が投球するときに自由な足を上げてから一時的に止めたり、自由な足を上げるとき意図的に段階をつけたり（いわゆる「2段モーション」）しても、走者が塁にいないときはペナルティが課せられなくなりました。（走者がいる場合は「3 ボーク」を参照）</li><li>また、アマチュア野球では、走者が塁にいないとき、セットポジションをと</li></ul> | <p>②打者の虚をつくことを意図した投球（クイックリターンピッチ）</p> <p>（以下、全削除）</p> | 2026年規則改正に伴う修正および規則改正経緯の削除 |

|              |  |       |           |
|--------------|--|-------|-----------|
|              | <p>った投手が完全に静止しないで投球した場合、規則 5.07(a)(2)【原注】の後段に該当する（打者のすきをついて意図的に止めなかつた）と審判員が判断すれば、クイックピッチとみなしてボールを宣告する場合があります。</p>  |       |           |
| P 3<br>3 ボーク | <p>◎ 2020 年度の規則改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2020 年度の規則改正において、5.07(a)(1) ① 、 5.07(a)(2) ② 、 5.07(a)(2)【注 2】、6.02(a)(1) が改正されました。</li> <li>• 5.07(a)(1)①および 5.07(a)(2)②<br/>打者への投球に関連する動作を起こしたならば、中断したり、変更したりしないで、その投球を完了しなければならない。</li> <li>• 5.07(a)(2)【注 2】<br/>(1)(2)項でいう『中断』とは、投手が投球に関連する動作を起こしてから途中でやめてしまったり、投球動作中に一時停止したりすることであり、『変更』とは、ワインドアップポジションからセットポジション（または、その逆）に移行したり、投球動作から塁への送球（けん制）動</li> </ul> | (全削除) | 規則改正経緯の削除 |

|                                 |  |   |                    |
|---------------------------------|--|---|--------------------|
|                                 | <p>作に変更することである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 6.02(a)(1)<br/>投手板に触れている投手が、5.07(a)(1)および(2)項に定める投球に関連する動作に違反した場合。</li> <li>• この改正により、走者が塁にいるときに、投手が投球するときに自由な足を上げてから一時的に止めたり、自由な足を上げるとき意図的に段階をつけたりした場合（いわゆる「2段モーション」）、次のような取り扱いとなりました。</li> <li>• 自由な足を上げてから一時的に止めた：ボーグ</li> <li>• 自由な足を上下させてから投球した：ペナルティなし</li> <li>• 自由な足を上下させてからけん制動作に移行した：ボーグ</li> </ul> |   |                    |
| P6<br>3 ボーグ<br>(5)よくある<br>ボーグの例 | <p>① 投球動作を起こしながら、投球を中断または変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 捕手のサインを見ながらストレッチを開始したが、途中でやめる。（準備動作の中断）</li> </ul>   | <p>① 投球動作を起こしながら、投球を中断または変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 捕手のサインを見ながらストレッチを開始したが、途中でやめる。<b>（準備動作の中断）</b></li> </ul> | 2026年規則改正<br>に伴う修正 |
| P12<br>5 走者の妨害                  | <p>△ 2020年度の規則改正により、走者がフェアの打球に、フェア地域で触れた場合は、原則アウトになるとされました。</p>  | (全削除)   | 規則改正経緯の削除          |

|                                     |  |  |                |
|-------------------------------------|--|--|----------------|
| (3)走者がフェアの打球に、フェア地域で触れる。            |  |  |                |
| P16~17<br>6 ベースコートのアシスト             | (省略)   | 文中の『肉体的援助』を『アシスト』に修正   | 2026年規則改正に伴う修正 |
| P26<br>9 故意落球、インフィールドフライ<br>(1)故意落球 |  | 項目末尾に下記を追記<br>◆ 外野手が、外野でダブルプレイを目的として故意に飛球やライナーを落とした場合でも故意落球の規則が適用できます。   | 規則適用解釈の追記      |
| P28<br>11 ラインアウトとノータック<br>(1)ラインアウト | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 当該審判員は、ベースパスから3フィート以上離れた地点を指さして『アウト・オブ・ザ・ベースパス』“Out of the base path !”</li> <li>● 次に、走者に向かって『ランナー、アウト』“He is out !”<br/>◆ 走者のベースパスとは、タッグプレイが生じたときの、走者と走者が向かっている墨を結ぶ直線のことです。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 当該審判員は、ベースパスから3フィート以上離れた地点を指さして『アウト・オブ・ザ・ベースパス』“Out of the base path !” または、『アウト・オブ・ザ・ベースライン』“Out of the base line !”</li> <li>● 次に、走者に向かって『ランナー、アウト』“He is out !”<br/>◆ 走者のベースパスとは、タッグプレイが生じたときの、走者と走者が向かっている墨を結ぶ直線のことです。</li> </ul> | 文言の追記          |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 先に走者に向かってアウトを宣告し、次に「オフ・ザ・バッグ」のジェスチャーのように両腕を振って、『アウト・オブ・ザ・ベースパス』“Out of the base path！”または、『アウト・オブ・ザ・ベースライン』“Out of the baseline！”と走者がベースパスから離れた事を選手、観衆に分かりやすく示す方法もあります。</li></ul> |  |
|--|---|--|